

阿多多羅

第103号  
発行  
令和6年7月28日  
責任者  
福島県公立学校  
退職校長会安達支部  
伊藤末吉

【巻頭言】

感謝



支部長 伊藤末吉

アンケートなどの分析を待つことになりませんが、私も個人的な感想を述べてみます。

創立六十年記念第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会が、令和六年六月十二日に大過なく実施され、県内六十支部の会員二百二十九名が会場の二本松御苑に参集しました。安達支部内で大会運営に協力可能な会員約五十名が各係に分担し合い、朝八時に集合し運営を行い、無事午後四時に予定通りに終了、片付け作業は気もそぞろに終わらせ、慰労会では満足感を持って旨いお酒をいただきました。

各係の成果や反省は、大会の

大会会場での運営は、十四年前？の経験から環境を活かす方向で対応でき、大きな混乱はなかったようです。開会式後の講演は、これまでの県大会で多かった、地域の専門家の講話とは少し異なるものになりました。二本松市名誉市民である大山忠作氏の長女で女優の大山采子さんにお願ひしましたが、期待通りの高評価を得ました。父親の九死に一生を得た戦争体験と日本画制作上の苦悩や、ご本人の女優としての苦労話は、聞く者に大きな感動を与えました。昼

食時に他地区会員から、「講演を聴いただけで、今日の県大会に参加した甲斐があった」という感想をいただき、よかったですなと思いました。また、昼食も味噌汁付きが大変好評で「参加費でこれだけの昼食が準備できたの？」という声をいただきました。

大会を成功させる要素の3K（研究協議、記念講演、交流会）の充実が達成できたことは、本支部会員皆さんの高い自覚と責任感、努力の賜であったと改めて感謝いたします。

午後の体験発表では、『歴史民族資料館の移転での苦労と成果』（石川支部）、『人づくりの指針作成に関わり』（耶麻支部）、『富士山の見える阿武隈の山々』（いわき支部）と、三地区代表の発表はそれぞれに個性的な面白がありました。また、本会のフォトαクラブの作品展示は新たな試みでしたが、質問もあり他地区会員に刺激を与えたようです。何事もチャレンジ精神は必要と思いました。

大会の実行委員長挨拶でも述べましたが、私たちを取り巻く環境は、退職年齢の五年延長や再任用・就職など厳しいものがあります。しかし、それぞれの環境で努力できることを大切にしたいものです。私は、大会翌日は県大会の事後処理に時間を使いましたが、翌翌日は恒例の杉田地区ラージボール卓球練習会に参加し、心地よい汗を流しました。

大会終了後は、行事の遂行と成功の思いがあり、支部会員の皆さんの安堵した姿が見られ、酒宴を楽しめました。次の日に二本松御苑に飲み物代の支払いに行くと、予算より低額に押さえていただき感謝です。

私が日常生活で心がけていることは、知・徳・体のバランスある生活をする事で、図書館の利用（知）、人との関わり（徳）、スポーツを楽しむ（体）ことをこれからも大事にし、生活に変化と潤いを保つことに心がけたいと思います。特に、手軽な散歩とスケッチを楽しむ、自然に感謝したいものです。



# 県大会二本松大会の報告(1)

## 「大会当日の全容」

創立六十年記念第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会は、令和六年六月十二日(水)に、二本松御苑を会場に開催された。



大会会長挨拶

開会式では、式に先立ち物故会員への黙祷、鈴木昭夫大会副会長(福島支部長)が開式のこ

とば、国歌斉唱のあと、福士寛樹大会会長(県会長)挨拶、伊藤末吉大会実行委員長(安達支

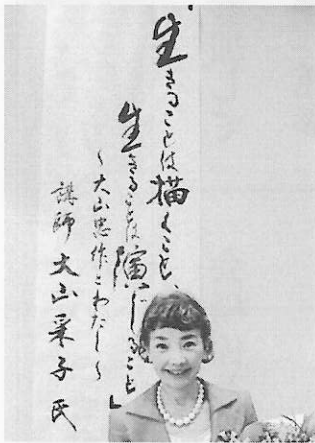
部長)挨拶と続いた。次に、来賓挨拶では、福島県教育委員会教育長様(代理・遠藤裕一県北教育事務所長)と二本松市長様(代理・高橋祐子市会計管理

者)より挨拶をいただき、来賓紹介、祝電披露と続き開会式は終了した。その後、「生きるこ

とは描くこと、生きることは演じること」と大山忠作とわたしと題して、二本松が生んだ大

山忠作画伯の長女で俳優、二本松観光大使でもある大山采子氏による講演会が行われた。

父大山忠作の生い立ち、戦争で九死に一生を得て帰国し、画



大山采子氏

家として生きることを決意したこと、その父の後ろ姿を見て、自分は生涯をかけて「演じること」を目指し、俳優となったことなどを、ユーモアあふれるエピソードを交えながらお話しされた。仏教に「顔施」という言葉があり、いつも、誰に対しても、にこやかでいたいと意識して演じていること、繰り返し演じることでいつか身に付き、地になると信じていること、「生きることは演じること」、生涯をかけて演じ、その名優になりたいと思っている、と講演を結んだ。

その後の昼食では、二本松御苑さんの味噌汁付きのお弁当のおもてなしと、二本松市の歴史と文化・観光の紹介、大山采子氏もプロデュースで関わっている大山忠作襖絵展の紹介動画が放映された。

午後には、石川支部の小針良仁氏の「石川町歴史民俗資料館移転オープンにあたって」、耶麻支部の神田優子氏の「喜多方市人づくりの指針への関わりを

通して」、いわき支部の矢内金五氏の「富士山の見える阿武隈の山々」と題して、体験発表が行われた。

その後、坂爪靖夫県事務局長が「大会宣言」を読み上げ、閉会式となり、次期開催地区代表から挨拶があり閉会となった。二本松大会は大成功裏に無事終了することができた。



大会に参加した安達支部会員全員で記念撮影

## 県大会二本松大会の報告(2)「大会前日までの準備」

### 受付・救護係として参加して

小池 重彰

受付・救護係は、受付時に各支部からの参加費を受領した上で、大会要項と飲み物を渡し、昼食時には短時間に弁当と味噌汁を配るといふ一連の流れがスムーズに進むように配慮することと、体調を崩した方の救護をおこなうという仕事を中心でした。

事前に係で協議し、総務、会計、御苑の方々に助言を頂きながら準備をしました。要項は支部ごとに必要部数を紐で束ね、飲み物は事前に各支部のテーブルに置くようにしました。弁当は支部ごとにまとめ、代表に取りに来てもらい、味噌汁は御苑の方に配ってもらうようにしました。

当日は、体調を崩す参加者の方もなく、係全員と御苑の方のご協力により滞りなく仕事を終えることができました。関わって頂いた方に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

### 会場係として参加して

渡辺 光太郎

まずは、創立六十年記念第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会が、県内各地の会員の皆様をお迎えして盛会のうちに終わることができたことを心から喜びたいと思います。

私は、今大会において会場係の副主任の役目をいただきました。主任先生にすっかりおんぶに抱っこ感はありませんが、組織の中の一歯車として何かしらの役に立てたのであればうれしい限りです。係員一人一人が役割を分担し、ひとつの共通目標に向けて力を合わせて取り組むことの大きさや喜びを久しぶりに感じることができました。

変化の激しい世の中にあって、ますます個々人の価値観も多様化しています。今後の会の運営にも少なからず課題があることと思いますが、これからも持続可能な退職校長会であるために、微力ではありますが少しでも足しになれるよう努めていきたいと思っています。

### 記録係として参加して

福本 隆

記録係の内容は、大会全般の記録・写真の撮影に加え、県広報誌「松風」の原稿を作成し、県本部に提出することでした。四名で事務作業・内容を確認し分担してすめました。

私の役割は、記録用スナップ写真撮影と講演内容記録のためのビデオ撮影をすることでした。そのため、ビデオカメラ、ボイスレコーダー、デジカメを準備しました。

ビデオ撮影をしながら、講師の大山采子さんの講演を聞いておりましたら、父親である大山忠作さんが生まれ育った二本松での話や、戦中戦後の画家として生きてきた姿を采子さんとのエピソードを交えた話など時間を忘れて聞き入っていました。参加者の皆さんもまた、頭を少しも動かさずに真剣に聞き入っている姿を見てとてもうれしくなりました。(後方からではありませんが)

大会開催に向け、支部長や事務局長をはじめ役員の皆様のこれまでのご労苦に感謝を申し上げます。

## 県大会二本松大会の報告(3)「大会に参加した感想」

### 県大会に参加して

服部 啓吉

創立六十年記念第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会は、六月十二日(水)に、二本松御苑を会場に、県内各支部より約二百二十九名の参加者により、三十度を超える猛暑の中、実施されました。

開会式では、福士寛樹会長のあいさつ、伊藤末吉大会実行委員長のあいさつ、来賓各位からの祝辞をいただきました。

その後、記念講演では、二本松が生んだ日本画家、大山忠作氏の長女大山采子氏(二本松観光大使)による「生きることは描くこと、生きることは演じること」大山忠作とわたしと題して、大山忠作氏の生い立ちと自身の生き方についての講演がありました。地元会員をはじめ出席した会員の皆さんも大いに感銘を受け聴き入っていました。

昼食後、石川・耶麻・いわきの三支部より体験発表があり、大会宣言が発表され、次期開催地区代表のあいさつがあり閉会となりました。

### 弦(つら)

菅野 藤雄

「お元気ですか。」

「今は、何をされていますか。」

と互いに尋ね合い昔を懐かしみながら先輩同僚と言葉を交わすことの出来たこと、本大会に対しまして感謝いたします。

万葉集に、

「陸奥の安達太良真弓はじきおきて、せらしめ置なば弦はかめかも」

とありますが、本大会は多くの方々が弓に再び弦を張ることのできた貴重な機会だったのではないかと思います。私にとりましてもとても嬉しく有意義な一日でした。

また、講師の大山采子さんの講演では、心に残る言葉がありました。

「顔で施し、繰り返し演じ続けることで、それ(徳を積んだ人)に近づいていく。」

という言葉です。退職後、何気なく日々を過ごしておりましたことが、何かを演じ続ける(こうありたいと実践すること)の大切さを改めて感じました。

### 二本松大会を終えて

井関 和明

今回、進行係として、午前の部の司会を担当させていただきました。皆様のご支援のおかげで何とか大役を終えることができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

昨年八月二十六日の第一回実行委員会から五回の会議を重ね、滞りなく大会を終えることができました。これは、安達支部会員一人一人の識見と努力の成果だと大変感激いたしました。

進行係は、主任として佐藤英之先生、日下部善己先生、佐久間葉子先生、そして私の四人で担当しました。進行計画、シナリオをつくっていただいた佐藤先生には大変ご苦労をおかけしました。大会が滞りなく進んだのも佐藤先生のおかげと感謝いたします。また、日下部先生には豊富なご経験からいろいろと示唆に富むご意見をいただきました。佐久間先生には講演会での花束の準備と贈呈をしていただき、大山采子氏の講演の最後を花束贈呈という形で締めくくっていただきました。

大会当日の早朝、犬と散歩をしていると朝の冷たい空気をつんざくカーンという声がありました。近くの畑から一羽のキジが飛び立っていったのです。キジは幸運のシンボルとも言われ、大変縁起の良いものだとされています。今回の大会の成功を告げる前兆だったのかもしれない。まさに、はれの日に天に昇る龍の様でした。

地区長寿会員紹介

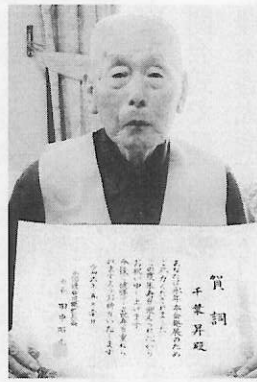
久保 恒義様

全連退賀詞会員紹介

伊東 博様



千葉 昇様



高齢者叙勲受章会員紹介

◇瑞宝双光章

伊東 博様

(元本宮第二中学校長)

◇瑞宝双光章

千葉 昇様

(元原瀬小学校長)

会員随想

「出会いと今の思い」

安齋 好孝

退職して早七年、その間、二本松市教育支援センターで三年、中学校でT・T教員として三年勤務し、様々な環境に置かれていた子どもたちや数学教育に携わることができ、学びのある日々を経験することができました。

中学校では、私が最後に勤務した小学校の教え子たちと再会し、数学の授業でいっしょに学び合うことができたことに、感謝と喜びを感じるとともに、やりがいのある日々を送ることができました。

現在は、無職となり、母の介護はありますが、わりと自分の好きなように時間を費やす日々を過ごしています。

最近気になることは、連日テレビ等で報道されている老化や

健康についてです。

そんなある日、デパートの化粧品売り場を訪ねました。もちろん、一人では恥ずかしいので妻も同伴です。そこで出会ったのが、ビューティコンサルタントの方でした。

年もとり、これまで自分の顔や手の肌の手入れなどには、無頓着でしたから、それらのことを彼女に相談しました。

すると、彼女は、男性も自分の肌や化粧に関心を持つことは、大切なことですし、奥さんも旦那さんと一緒に相談されるなんて、とっても素晴らしいことです、私ばかりでなく、同伴者である妻までも褒められてしまい、妻も満足げでした。

人は誰しも、褒められれば気持ちのよいもので、私たちは、会話もはずみ、初対面にもかかわらず、コミュニケーションも深まっていききました。また、様々な相談をしながら、彼女の説明に耳を傾ける自分の変化に気づきました。

この出会いと会話から、改めて学んだことは、

- ① 好感のもてる接客態度 (笑顔・明るさ・話し方)
- ② 要望を聞き入れる姿勢 (カウンセリングマインド)
- ③ 商品や手入れ・化粧方法に関する説明の的確性 (専門性)
- ④ 新しい提案の提示・説明 (対応・改善策の提案)

現在、地元である私や私の子どもが卒業した小学校は、新しくボランティア学習支援員を募集しています。先生とは違った立場で、子どもたちと向き合い、ふれ合いながら、日々の学びや経験を生かして、子どもたちの成長に少しでも貢献できたらいいなと思っています。





# クラブ活動の紹介

## フォトαクラブ

写真 十何でも可



令和三年四月三名で発足した  
 フォトαクラブも四年目を迎え  
 会員四名で、二か月に一度の例  
 会を中心に活動をしています。  
 写真に俳句を加えた作品や県内  
 外の山や風景など多方面に亘り  
 αの自由性や創造性を楽しんで  
 おります。

コンパクトデジカメやスマー  
 トフォンなどの有無に関係なく、  
 どなたでもクラブに参加して趣  
 味を広げ、老後を健康で楽しく  
 過ごして頂きたいと思えます。  
 皆様のご参加をお待ちしており  
 ます。年会費は、千円です。  
 ※例会は、二ヶ月に一度・奇数  
 月第二金曜日の午後二時間を原  
 則とし勤労者研修センターで行  
 っています。

※作品の発表機会は、支部総会  
 (四月)・現職校長との懇談会  
 (十二月)に加え、地区文化団  
 体(総合文化愛好会)との年二  
 回の合同展(八月と三月の各二  
 週間、県男女共生センター三階  
 ロビー)です。第七回合同展は  
 七月二十一日から二週間です。  
 ご来場・ご高覧をお願いしま  
 す。



二本松大会会場に展示していた作品の前で(6月11日)

### 令和六年度支部役員

- 支部長 ○伊藤 末吉
- 副支部長 ○松浦 健二
- 佐藤 英之
- 角田 恒雄
- 小松 佑
- 監事 ○安田 幹雄
- 小島 喜一
- 顧問 久保 恒義
- 石川不二雄
- 理事 ○菅野 藤雄
- 鈴木 則雄
- 草野 和代
- 服部 健
- 服部 啓吉
- 宮前 貢
- 松井 義孝
- 菊池 勇人
- 福本 隆
- 松本 公秀
- 鈴木 一高
- 小池 重彰
- 渡辺光太郎

- 事務局長 ○高島 徹也
  - 庶務 渡部 祐司
  - 渡邊 健順
  - 会 計 ○小濱 伸
  - 紺野 宗作
  - 県評議員 ○伊藤 末吉
  - 高島 徹也
  - 県理事 ○宮前 貢
  - 安田喜市郎
- (○は理事)

今年度は役員改選の年ではあ  
 りませんので、令和五年度の役  
 員が引き続き務めます。なお、  
 郭内地区の佐藤邦英様が理事を  
 退任されました。長期にわたり  
 心より感謝申し上げます。後任  
 に草野和代様が新理事となりま  
 した。

また、安達地区は、会員数が  
 多いため二地区に分け、福本隆  
 様が新理事となりました。  
 三名の新理事の皆様、どうぞ  
 よろしくお願いいたします。